

生産設備改善によるコスト削減

アドバンスコース

企業競争に勝ち抜いていくには製品原価の低減は不可欠です。その中でも、“ものづくり現場”におけるコスト削減は、最重要課題として位置づけ絶え間ない改善が続けられています。特に、設備投資が必要となる改善はその投資に見合う利益が得られなければ、損失となってコスト上昇を招いてしまいます。

本講座では、ものづくり現場におけるコスト削減の切り口、見つけ方はじめ設備投資に際して事前に考慮する事項、その導入手順及び設備の保安全管理などについて講師の実体験をもとに分りやすく解説します。

対象 ものづくり現場の管理者、
リーダー(中核人材)の皆様
経験年数10年程度以上

定員 30名

時間 9:30~16:30 6時間
(9:00から受付)

日程 平成30年 9月20日(木)

会場 岐阜工業高等専門学校
図書館 多目的ホール

研修後のフォローアップ

研修後、ご希望により、逆スクーリング制度(フォローアップ)を実施します。

講師が受講者の現場を訪問し、直接指導を行います。(有料)

講師紹介

向井 軸郎

大手電機会社において、長年に渡り生産技術業務を担当し、製造現場での生産方式の改善、合理化投資などを経験。生産技術部門、環境部門の責任者として技術分野の実務の経験と知識は幅広いものがある。講座では豊富な知識と経験から解りやすく解説することで好評を得ている。

プログラム

1. 生産コストとは

- 1 製品原価の構成を知る
- 2 生産現場でのコスト削減テーマの見つけ方

2. 生産工程のコスト削減の進め方

- 1 改善の手順と重要なポイント
- 2 対象作業の分析の仕方
- 3 ムダな作業の見つけ方
- 4 治具化の狙いと効果
- 5 作業の機械化・自動化に際して考慮するポイント

3. 設備投資による改善を進めるには

- 1 設備投資の発注から据付・稼働までの手順
- 2 投資額の見積もりのノウハウ
- 3 投資の利益・不利益の検討ポイント
- 4 投資の経済性評価の方法
- 5 稟議書作成のポイント

4. ここにもあるコスト低減対象

- 1 機器、工場の省エネルギー化の仕方
- 2 購入部品や外注品の内製化のポイント

5. 設備の保安全管理の進め方

- 1 TPM (Total Preventive Maintenance) とは
- 2 設備の効率化を阻害する6大口ス
- 3 職場に於ける自主保全活動の重要性
- 4 計画保全の進め方
- 5 設備の不良対策事例